



# 城西国際大学大学院

2018年4月入学(国内募集)

## 学生募集要項

### 人文学研究科

国際文化専攻(修士課程)

女性学専攻(修士課程)

グローバルコミュニケーション専攻(修士課程)

比較文化専攻(博士後期課程)

### 国際アドミニストレーション研究科

国際アドミニストレーション専攻(修士課程)

### 経営情報学研究科

起業マネジメント専攻

(修士課程・博士後期課程)

### 福祉総合学研究科

福祉社会専攻(修士課程)

### ビジネスデザイン研究科

ビジネスデザイン専攻(修士課程)

### 薬学研究科

医療薬学専攻(博士課程)

# 建学の精神 理念 目的 ポリシー等

## 建学の精神

学問による人間形成

## 教育理念

国際社会で生きる人間としての人格形成

## 教育目標

学校法人城西大学は、創立者水田三喜男による「学問による人間形成」を建学の精神として1965(昭和40)年に発足した。城西国際大学は、その建学の精神を継承しつつ、「国際社会で生きる人間としての人格形成」を独自の教育理念として掲げ、新時代を見据えた人材育成を社会的使命としてきた。

また、本学学則第1条では、「広い分野の知識と深い専門の学術を教授研究し、知的、道徳的能力の涵養をはかり、もって国家社会に貢献し得る人材を養成するとともに、人類文化の発展に寄与することを目的とする」ことを掲げている。

本学は、これらを具現するため、次の5項目を具体的な教育目標として掲げ人材の育成に努めている。

- 1) 先端性を持った経営情報学、人文学、社会福祉学、薬学、メディア学、観光学、環境社会学、看護学の教育・研究に努め、高度な知識、技能をもつ職業人を育成する。
- 2) 世界の中で果たすべき日本の役割を自覚し、国際的かつ学際的な視野と認識をもって、広く社会の諸分野でリーダーシップを発揮できるグローバル人材を育成する。
- 3) 社会人として必要とされる基礎的な力と教養、実務能力などの修得、および帰属意識の形成をはかる。
- 4) 大学設置地の地域社会と緊密な関係を保ち、産学民官の協同による地域の活性化、及び文化の振興に貢献する「地域密着型」の総合大学、国際大学を目指す。
- 5) 同一法人の城西大学と相互啓発・協働をおこない、相携えて発展することで、社会における学校法人城西大学の責務を果たす。

## 城西国際大学が求める人物像(アドミッション・ポリシー)

城西国際大学大学院は、建学の精神「学問による人間形成」および教育理念「国際社会で生きる人間としての人格形成」を理解し、本学大学院の教育方針に共感を示す以下のような人を広く求めます。

### 修士課程

- 1) 自らの研究分野について学士課程修了相当の基礎的な知識を持ち、それをさらに専門的に深化向上させるために主体的に取り組むことができる人。
- 2) 研究者倫理について理解している人。
- 3) 自らの研究分野について強い探求心を持ち、自ら研究課題を設定することができる人。
- 4) 自らの研究課題や内容を口頭発表や論文で的確に表現できる人。
- 5) 自らの研究成果を社会的な課題の解決に活用し、社会の発展に資することに価値を見出すことができる人。
- 6) 異なる価値観が存在するグローバル社会のリーダーとなり、共に生きることや人が成長することに価値を見出すことができる人。

### 博士課程

- 1) 自らの研究分野について修士課程修了相当の専門的な知識を持ち、その更なる深化向上に主体的に取り組む、学位論文にまとめようとする意欲のある人。
- 2) 学位論文の作成に必要な語学力を有する人。
- 3) 研究者倫理について理解している人。
- 4) 自らの研究分野について強い探求心を持ち、独創的な研究課題を設定し、論理的な学位論文をまとめることができると見込める人。
- 5) 自らの研究課題や内容について学会での口頭発表や論文執筆ができる人。
- 6) 自らの研究成果を積極的に発表し学問の発展に資することに価値を見出すことができる人。
- 7) 自らの研究成果を社会的な課題の解決に活用し、社会の発展に資することに価値を見出すことができる人。
- 8) 異なる価値観が存在するグローバル社会のリーダーとなり、共に生きることや人が成長することに価値を見出すことができる人。

## 人文科学研究科比較文化専攻が求める人物像

### 1. 知識・理解

- 比較文化研究、ジェンダー論、日本文化研究、表象文化研究に関して、修士課程修了相当の知識と理解を有している。

### 2. 技能

- 人文科学の諸領域に関して、修士課程レベルの研究・発表能力を習得している。
3. 態度・志向性
- グローバル社会との関係性において人文科学の諸領域を捉え、探究しようとしている。

### 人文科学研究科国際文化専攻が求める人物像

1. 知識・理解
- 日本文化研究・比較文化研究の専門的な内容及び方法について、学士課程修了相当の基礎的な知識を有している。
2. 技能
- 日本文化研究・比較文化研究の分野において自ら研究課題を設定することができる。
  - 自らの研究テーマや内容を、口頭表現や文章表現で的確に伝えられる。
3. 態度・志向性
- 文化の多様な側面に関心を持ち、研究をとおして理解を深めたいと考えている。
  - 異文化理解力とコミュニケーション力を積極的に磨き、その力をもって社会に貢献したいと考えている。
  - 文化に係る知識を必要とする専門職を目指している。

### 人文科学研究科女性学専攻が求める人物像

1. 知識・理解
- 人文科学・社会科学の専門的な内容及び方法について、学士課程修了相当の基礎的な知識を有している。
2. 技能
- 女性学・ジェンダー研究の分野において自ら研究課題を設定することができる。
  - 自らの研究テーマや内容を、口頭表現や文章表現で的確に伝えられる。
3. 態度・志向性
- ジェンダーと人権にかかわる諸問題に関心を持っている。
  - ジェンダー平等社会の実現に向けて、具体的な問題意識を有している。

### 人文科学研究科グローバルコミュニケーション専攻が求める人物像

1. 知識・理解
- 言語学、言語教育学、翻訳・通訳研究について学士課程修了相当の基礎的な知識を有している。
2. 技能
- 専攻しようとする分野に関係する言語について、日常のコミュニケーションが円滑にできる程度の運用能力を有している。
  - 「日本語教育」「翻訳」「通訳」「TESOL」の分野において自ら研究課題を設定し、研究計画を立てることができる。
  - 自らの研究テーマや内容を、口頭表現や文章表現で的確に伝えられる。
3. 態度・志向性
- グローバル社会のより良い発展について主体的に考え、そのような社会に適応し、貢献できる人材になりたいと希望している。
  - 異文化を理解する能力を養い、多文化共生社会で貢献し、活躍したいと望んでいる。
  - 言語の普遍性や多様性など、母語に限定されない言語の幅広い知識を身に付け、豊かな言語生活を築きたいと考えている。
  - コミュニケーションに含まれる多様な要素について関心を持ち、理解を深めたいと考えている。
  - より高度な語学力とコミュニケーション能力を、実践を通して習得し、それを活かせる職業に就きたいと考えている。
  - 日本語教員、翻訳者・通訳者、英語教員など、言語に関する専門知識と応用言語学的知識(言語教育や翻訳・通訳などの知識)が必要とされる専門職を目指している。

### 国際アドミニストレーション研究科が求める人物像

- 学際的な研究をおこなうことに強い意欲を持ち、専門的な知識や実践的な能力を高めようとする人。
- 現代のグローバル社会が抱える諸問題に強い関心を持ち、問題解決に努め、貢献しようとしている人。
- 創造性に優れ、グローバルリーダーとしての役割を果たしていくことに、強い意欲を持っている人。

### 経営情報学研究科起業マネジメント専攻(博士後期課程)が求める人物像

- 修士の学位を取得し、更なる専門知識に対する探究心を有する者。
- 修士論文において研究活動に必要な基本能力を確認できる者。
- 学位論文作成に必要な語学力を有する者。
- 研究者として強い成長意欲を有する者。
- 高度な専門職業人を目指し専門分野における能力向上意欲を有する者。

## 経営情報学研究科起業マネジメント専攻(修士課程)が求める人物像

- 学士号を取得し、経営分野の専門知識に対する強い探究心を有する者。
- 専門知識の修得意欲に加え、将来の自身について強い成長意欲を有する者。
- 高度資格取得に意欲的に取り組む姿勢を有する者。
- 修士論文作成に必要な語学力を有する者。
- 中小企業診断士養成課程については、中小企業診断士の第1次試験に合格し、本修士課程において同資格の取得を目指す者。

## 福祉総合学研究科が求める人物像

- 社会福祉または近接領域等における学び、あるいは福祉に関わる実務体験等を経て、福祉社会を創造することの必要性を認識し、その実現に資する研究に取り組む意欲をもつ人。
- 異なる文化や価値観、多様な人々のライフスタイルを理解し、共感できる広い視野と柔軟性を備えた人。
- 本研究科での学びを強く希望し、福祉を広い視野から再考し、構築するための専門性や実践力、研究能力を身につけた人。

## ビジネスデザイン研究科が求める人物像

### 1. 知識・理解

- 今日の PEST(政治 Politics、経済 Economics、社会 Society、技術 Technology)に係る基本的な知識を持ち、変化の方向性に敏感な人。
- 今後の社会において、メディアに係る技術・表現・制作、視覚文化・映像文化・表象文化の重要性を理解し、積極的に学ぶ意欲のある人。

### 2. 技能

- ロジカルシンキングによる合理的なコミュニケーション・判断・意思決定ができる人。
- 効果的なコミュニケーションを進めるために、メディアに係る技術・表現・制作を学ぶ意思をもっている人。

### 3. 態度・志向性

- クリティカル・シンキングによる新しいものの見方を獲得する知的柔軟性をもっている人。
- 社会的課題に関心をもち、ソーシャルイノベーションに係わりたい人。
- デザイン思考、仮説思考、シナリオ思考による新しい価値の創造に従事したい人。

## 薬学研究科が求める人物像

薬学研究科は、建学の精神「学問による人間形成」および教育理念「国際社会で生きる人間としての人格形成」を理解し、教育方針に共感を示す以下のような人を広く求める。入学にあたっては、薬剤師の資格は必ずしも必須とせず、これまでの薬学にない領域において確かな基盤的能力を有する人も受け入れる。

- 6年制薬学部あるいは大学院修士課程修了相当の学力を有し、さらに深化させ、専門知識や技能を向上させるために主体的に取り組むことができる人。
- 医療薬学に対し強い探究心や好奇心を有し、課題解決を通して社会の発展に貢献することに価値を見出すことができる人。
- 異なる価値観が存在する社会のリーダーとなり、共に生きることや人が成長することに価値を見出すことができる人。

# 目次

## はじめに

- この学生募集要項には出願手続きから入学手続き完了までのすべてを記載しています。はじめに一通り熟読してください。さらに必要なところを読み返して、書き違い、思い違いのないように十分注意してください。
- 選考日当日はこの「学生募集要項」を必ず持参してください。
- 不正行為が発覚した場合は、試験当日の以降の受験は認めません。
- 出願書類の本学所定用紙は別刷を使用してください。

## 建学の精神 理念 目標 ポリシー等

募集人員・出願資格	1
日程	2
選考会場	3
出願手続きに関する注意・選考時間・通学キャンパス	4
出願手続き・国内一般入試	5
出願手続き・留学生国内入試	7
出願手続き・社会人入試	10
合否発送・入学手続き・入学辞退	12
学費等納付金一覧	13

### 『個人情報保護法』について

- ※ 「個人情報保護法」の施行に従い、本学では、学内における学生個人の情報に利用・管理方法の再確認を行うとともに、個人情報の管理に最善の注意を払って取り組んでいます。
- ※ 入学試験での提出書類の記載事項については、次のとおり利用します。
  1. 入学試験に関する資料作成のため
  2. 合格者及び入学決定者への諸連絡のため
  3. 入学決定者については、入学後の新入生名簿及び学生名簿作成のため

### 修士課程修了要件について

修了の要件は、所定の単位の修得と修士論文またはプロジェクト研究報告書の審査および最終試験に合格することです。修業年限は2年ですが、出願時に1年間で修士課程を修了できると見込まれ、在学中に特に優れた業績をあげた者については、1年以上の在学で修了できる制度も設けています。

人文科学研究科国際文化専攻、女性学専攻、グローバルコミュニケーション専攻  
経営情報学研究科起業マネジメント専攻、ビジネスデザイン研究科ビジネスデザイン専攻  
福祉総合学研究科福祉社会専攻、国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻

### 教育・研究施設設備の充実発展のための寄付金の募集について

本学では、教育・研究施設設備の更なる充実発展のために、寄付金を募集しております。この寄付金は、任意のものではありますが、入学後に募集のご案内をお送りいたしますので、この趣旨にご賛同いただき、格別のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### All-English Program

国際アドミニストレーション専攻は英語によるプログラム(授業)を設置しています。All-English Programを希望する場合は本学公式 web サイトを確認してください。

<http://www.jiu.ac.jp/englishsite/mgsia/index.html>

## 1. 募集人員

### 募集研究科・専攻・学位および募集人員

研究科	専攻	学位	修了年限	募集人員(名)		
				4月	9月	合計
人文科学研究科	国際文化専攻	修士(国際文化)	2年*	10	5	15
	女性学専攻	修士(女性学)	2年*	10	5	15
	グローバルコミュニケーション専攻	修士(国際文化)	2年*	15	10	25
	比較文化専攻	博士(比較文化)	3年	4	2	6
国際アドミニストレーション研究科	国際アドミニストレーション専攻	修士(国際アドミニストレーション)	2年*	25	10	35
経営情報学研究科	起業マネジメント専攻	修士(経営学)※	2年*	26	10	36
	起業マネジメント専攻	博士(経営学)	3年	4	2	6
福祉総合学研究科	福祉社会専攻	修士(福祉社会)	2年*	20	5	25
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻	修士(経営学)	2年*	20	10	30
薬学研究科	医療薬学専攻	博士(薬学)	4年	3	—	3

\*1年修了コース有り。(経営情報学研究科起業マネジメント専攻は中小企業診断士登録養成課程を除く)希望者は面接時に資格の審査があります。審査の結果、1年修了コースに該当しないと判断された場合、2年修了の課程で合格が認められることがあります。

## 2. 出願資格

### 博士後期課程

博士課程(後期)の出願資格は、以下のいずれかに該当する者に認められます。

- (1)修士の学位や専門職学位を有する者(学校教育法第102条第1項)または入学時までに修士の学位を取得する見込みの者
- (2)外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者(学校教育法施行規則第156条第1号)または入学時までに修士の学位に相当する学位を取得する見込みの者
- (3)外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者(学校教育法施行規則第156条第2号)
- (4)外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学(大学院相当)日本校)を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者(学校教育法施行規則第156条第3号)
- (5)国連連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者(学校教育法施行規則第156条第4号)
- (6)大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者(平成元年文部省告示第118号)
- (7)大学院において個別の入学資格審査により認めた24歳以上の者(学校教育法施行規則第156条第6号)

### 博士課程【薬学研究科医療薬学専攻】

- (1)6年制課程の大学を卒業した者、または入学時までに卒業見込みの者。
- (2)4年制課程の大学を卒業し、修士の学位を取得した者または入学時までに卒業見込みの者
- (3)大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- (4)本大学院において、(1)、(2)または(3)と同等以上の学力があると認められた者。

※なお、社会人選抜の出願資格は、上記のいずれかに該当し、かつ下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- ①卒業後2年以上が経過し、薬学領域(医療関連)の職務経験を2年以上有する者。
- ②本大学院において同等の経験を有すると認められた者。

### 修士課程

修士課程の出願資格は、以下のいずれかに該当する者に認められます。

- (1)大学を卒業した者(学校教育法第102条)及び入学時までに卒業見込みの者
- (2)大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者(学校教育法施行規則第155条第1項第1号)
- (3)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(学校教育法施行規則第155条第1項第1号)または入学時までに卒業見込みの者
- (4)外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者(学校教育法施行規則第155条第1項第3号)
- (5)我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者(学校教育法施行規則第155条第1項第4号)

- (6)外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上の課程を修了し、本大学院で大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- (7)指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校)を修了した者(学校教育法施行規則第155条第1項第5号)
- (8)個別の入学資格審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院において認めた者で、22歳に達している者(学校教育法施行規則第155条第1項第8号)
- (9)社会人選抜の出願資格については上記のいずれかに該当し、かつ下記の条件のいずれかを満たす者とする
- ①卒業後2年以上が経過し、出願時に職務経験を2年以上有する者
- ②本大学院においてこれと同等の経験を有すると認められた者
- ※グローバルコミュニケーション「TESOL 研究分野」または国際アドミニストレーション専攻「オール・イングリッシュコース」出願者は、本学大学院において受講するに足る英語能力(欧米地区以外は TOEIC Listening & Reading 600 相当)を有していること。

### 外国人留学生

外国人留学生は、「出願資格」(1 ページ)のほかに、下記(1)～(4)のいずれか1つに該当する者について出願を受け付けます。

- (1)日本留学試験(過去2年までの成績が有効)において「日本語」を受験し、得点が220点以上の者
- (2)日本語能力試験N2(旧2級)以上を取得している者
- (3)本学大学院において受講するに足る日本語能力(N2相当)を有すると判断される者
- (4)本学大学院において受講するに足る英語能力(欧米地区以外は TOEIC Listening & Reading 600 相当)を有すると判断される者

※(4)グローバルコミュニケーション専攻「TESOL 研究分野」と国際アドミニストレーション専攻「オール・イングリッシュコース」限定

※英語能力

【欧米地区】英語:ネイティブ・スピーカー以外の場合は、TOEIC Listening & Reading 730 以上、TOEFL iBT 80/PBT 550 以上、IELTS(Academic) 6.5 以上などの英語能力が証明できる者

【それ以外の地区(アジア地区など)】英語:TOEIC Listening & Reading 600 以上、TOEFL iBT 61/PBT 500 以上、IELTS(Academic) 5.5 以上、あるいは他の試験でこれらと同等のスコア

※日本語能力(N2相当)

日本語教育機関や高等学校・短期大学・大学等で1年間以上または500時間以上日本語を学んだことを証明できる者には受験資格を付与(日本語能力試験N3相当の時間数)

.....  
 出願資格の事前相談や、受験や修学上で特別な配慮を必要とする場合には、入試および入学後の学習等に関係があるので、入学検定料を払い込む前(受験希望の入試出願締切日の概ね2週間前迄)に、入試・広報センターまで相談してください。  
 .....

### 3. 日程

#### 【人文科学研究科】

	出願期間	選考日	合否通知発送日	入学手続締切日
第1期	2017年11月27日(月)～12月6日(水)	12月17日(日)	12月22日(金)	1月9日(火)
第2期	2018年1月10日(水)～1月19日(金)	1月28日(日)	2月2日(金)	2月14日(水)
第3期	2018年2月14日(水)～2月22日(木)	3月6日(火)	3月9日(金)	3月20日(火)

※締切日必着

#### 【国際アドミニストレーション研究科】

	出願期間	選考日	合否通知発送日	入学手続締切日
第1期	2017年10月24日(火)～11月1日(水)	11月11日(土)	11月17日(金)	11月28日(火)
第2期	2017年11月27日(月)～12月6日(水)	12月17日(日)	12月22日(金)	1月9日(火)
第3期	2018年1月10日(水)～1月19日(金)	1月28日(日)	2月2日(金)	2月14日(水)
第4期	2018年2月14日(水)～2月22日(木)	3月6日(火)	3月9日(金)	3月20日(火)

※締切日必着

**【経営情報学研究科】**

	出願期間	選考日	合否通知発送日	入学手続締切日
第1期	2017年10月24日(火)～11月1日(水)	11月11日(土)	11月17日(金)	11月28日(火)
第2期	2017年11月27日(月)～12月6日(水)	12月17日(日)	12月22日(金)	1月9日(火)
第3期	2018年2月14日(水)～2月22日(木)	3月6日(火)	3月9日(金)	3月20日(火)

※締切日必着

**【福祉総合学研究科】**

	出願期間	選考日	合否通知発送日	入学手続締切日
第1期	2017年10月24日(火)～11月1日(水)	11月11日(土)	11月17日(金)	11月28日(火)
第2期	2017年11月27日(月)～12月6日(水)	12月17日(日)	12月22日(金)	1月9日(火)
第3期	2018年2月14日(水)～2月22日(木)	3月6日(火)	3月9日(金)	3月20日(火)

※締切日必着

**【ビジネスデザイン研究科】**

	出願期間	選考日	合否通知発送日	入学手続締切日
第1期	2017年10月24日(火)～11月1日(水)	11月11日(土)	11月17日(金)	11月28日(火)
第2期	2017年11月27日(月)～12月6日(水)	12月17日(日)	12月22日(金)	1月9日(火)
第3期	2018年2月14日(水)～2月22日(木)	3月6日(火)	3月9日(金)	3月20日(火)

※締切日必着

**【薬学研究科】**

	出願期間	選考日	合否通知発送日	入学手続締切日
第1期	2017年10月24日(火)～11月1日(水)	11月11日(土)	11月17日(金)	11月28日(火)
第2期	2017年11月27日(月)～12月6日(水)	12月17日(日)	12月22日(金)	1月9日(火)
第3期	2018年1月10日(水)～1月19日(金)	1月28日(日)	2月2日(金)	2月14日(水)
第4期	2018年3月2日(金)～3月10日(土)	3月17日(土)	3月23日(金)	3月27日(火)

※締切日必着

**4. 選考会場****千葉東金キャンパス**

- ・人文科学研究科 国際文化専攻、女性学専攻、比較文化専攻
- ・経営情報学研究科 起業マネジメント専攻(中小企業診断士登録養成課程は除く)
- ・福祉総合学研究科 福祉社会専攻
- ・薬学研究科 医療薬学専攻

**【所在地】〒283-8555 千葉県東金市求名(ぐみょう)1番地**

JR 東金線 求名駅より徒歩5分

**東京紀尾井町キャンパス**

- ・人文科学研究科 グローバルコミュニケーション専攻
- ・経営情報学研究科 起業マネジメント専攻(中小企業診断士登録養成課程)
- ・国際アドミニストレーション研究科 国際アドミニストレーション専攻
- ・ビジネスデザイン研究科 ビジネスデザイン専攻

**【所在地】****[1号棟] 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26**

- ・東京メトロ有楽町線 麴町駅1番出口より徒歩3分
- ・東京メトロ南北線 永田町駅9a番出口より徒歩5分
- ・東京メトロ丸の内線・銀座線 赤坂見附駅D出口より徒歩8分



- ・JR 中央線・総武線 四ツ谷駅より徒歩 10 分
- [3号棟] 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-20
- ・東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅 1 番出口より徒歩 5 分
- ・東京メトロ有楽町線 麴町駅 1 番出口より徒歩 5 分

## 5. 出願手続きに関する注意

(1) 入学検定料 35,000 円

※本学所定の振込用紙で郵便局に払い込み、受付局日付印を確認のうえ、郵便振替払込受付証明書を志願票裏面の所定欄に貼付してください。現金、為替等での納入は受け付けません。また、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。

(2) 受験票: 出願者には、書類を受理し確認の後、受験票を送付します。

① 受験票用紙に受験者の住所・氏名を記入してほかの書類と一緒に送付してください。

② 受験日 3 日前までに受験票が到着しない場合は、必ず入試・広報センターまで問い合わせてください。

(3) 出願書類は必ず**簡易書留**で郵送してください(締切日必着)。

送付先:城西国際大学 入試・広報センター

〒283-8555 千葉県東金市求名(ぐみょう)1 番地

TEL0475-55-8855 (直通)

※提出した書類(一部の原本を除く)の変更・返還、および入学検定料等の返還は認めません。

## 6. 選考時間

【午前】

内容	集合	筆記試験
時間	10:20	10:40～

【午後】

内容	集合	面接
時間	12:40	13:00～

※状況により、午前または午後に筆記試験・面接を行うことがあるので、受験票の裏面を必ずご確認ください。

※試験当日は必ず受験票を持参してください。

※受験票を紛失した場合には、試験開始 10 分前までに入試・広報センターに申し出てください。

※選考会場は受験票でもう一度確認してください。

## 7. 通学キャンパス

研究科・専攻	キャンパス
人文科学研究科 国際文化専攻(修士課程)、女性学専攻(修士課程)、比較文化専攻(博士後期課程) 経営情報学研究科 起業マネジメント専攻(修士課程・博士後期課程) 福祉総合学研究科 福祉社会専攻(修士課程)	千葉東金キャンパス
人文科学研究科 女性学専攻(修士課程)、グローバルコミュニケーション専攻(修士課程)、比較文化専攻(博士後期課程) 経営情報学研究科 起業マネジメント専攻(修士課程・中小起業診断士) 福祉総合学研究科 福祉社会専攻(修士課程) 国際アドミニストレーション研究科 国際アドミニストレーション専攻(修士課程) ビジネスデザイン研究科 ビジネスデザイン専攻(修士課程)	東京紀尾井町キャンパス

## 8. 出願手続

### ■ 国内一般入試

#### (1) 出願書類(全研究科共通)

	出願書類	備 考
1	志願票	①写真(出願3ヶ月以内に撮影したもので縦4cm×横3cm、正面上半身、脱帽、背景なし) ②受験票の記載欄に、「住所」「氏名」および「志望学科」を必ず記入 ③入学検定料の払い込みを済ませた受付局日付印のある「郵便振替払込受付証明書」を志願票裏面の所定欄に貼付
2	健康診断書	本学所定用紙に記入して提出(医療機関で受診) ※学生の場合、学校発行の診断書でも可
3	最終出身学校の卒業証明書(或は卒業見込証明書)と成績証明書	証明書原本を提出
4	推薦書	本学所定用紙に推薦者が自筆で記入し、署名および押印をした書類を提出 ※厳封すること
5	志望理由書	本学所定の用紙を使用して記入すること ※ワードで作成した文書を貼付してもよい
6	語学関連の各種検定試験等の合格証書やスコアの写し	※国際アドミニストレーション専攻・グローバルコミュニケーション専攻のみ 語学関連の各種検定試験の合格証書やスコアを証明する書類などがある場合には写しを提出
7	プレゼンテーション資料	●ビジネスデザイン研究科のみ提出 ※パワーポイント等プレゼンテーション用ソフトを使用する場合には、プレゼンテーションに使用するデータ(画像)をプリントした資料を提出(2部)
8	パソコン使用に関するアンケート	●ビジネスデザイン研究科のみ提出 プレゼンテーションにおいて、パソコンを使用する場合に提出
9	卒業(修士)論文	卒業(修士)論文および付随する資料(コピー可) なお、卒業(修士)論文を提出できないものについては、その理由を記載した理由書(書式自由)および卒業(修士)論文に相当する業績(コピー可)を提出

	注意事項
1	状況に応じて上記出願書類以外の書類の提出を求める場合があります
2	証明書の姓が現在と異なる場合は、戸籍抄本等を提出してください
3	出願書類は、受験生が自筆の日本語で記入してください
4	提出書類等に虚偽の記載、または虚偽の申告等の事実があった場合には、入学許可を取り消す場合があります
5	提出書類のうち、卒業証書等の再発行が不可能な資料等原本については、可否判定後に返却します

#### (2) 選考方法

人文科学研究科 (国際文化専攻・女性学専攻・グローバルコミュニケーション専攻・比較文化専攻)

##### ●国際文化専攻・女性学専攻・比較文化専攻の選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 英語試験 (60分 100点)
- (3) 面接

※本学日本人卒業生は英語試験を免除

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

##### ●グローバルコミュニケーション専攻の選考方法(日英・日中・日韓・翻訳・通訳研究分野を選択する場合)

英語・中国語・韓国語能力について中級以上を有すると判断される者

- (1) 書類審査
- (2) 「英語」「中国語」「韓国語」から専攻を希望する分野に関する言語を1つ選択 (60分 100点)
- (3) 面接

※本学日本人卒業生は英語試験を免除

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

##### ●グローバルコミュニケーション専攻(TESOL 研究分野を選択する場合)

【欧米地区】英語: ネイティブ以外の場合は、TOEIC Listening & Reading730 以上、TOEFL iBT80/PBT550 以上、IELTS(Academic)6.5 以上などの英語能力が証明できる者

【それ以外の地区(アジア地区など)】英語: TOEIC Listening & Reading 600 以上、TOEFL iBT61/PBT500 以上、IELTS(Academic)5.5 以上、あるいは他の試験でこれらと同等のスコア

- (1) 書類審査
- (2) 英語によるエッセイ (60分 100点)

(3) 面接

※本学日本人卒業生は英語試験を免除

※辞典等の持込不可

※これまでにこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

●起業マネジメント専攻(修士課程・博士後期課程)

(1)書類審査

(2)面接

※これまでにこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

●福祉社会専攻

(1)書類審査

(2)面接

※これまでにこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

●ビジネスデザイン専攻

(1)書類審査

(2)面接(研究計画に関するプレゼン及び口述試問)

※面接する際、パソコンでのプレゼンテーションが可能です。パソコンを使用する場合には、パソコン使用に関するアンケートを必ず提出し、選考日当日にパソコンを持参してください。

●国際アドミニストレーション専攻

【A方式】日本語能力で選考

(1)書類審査

(2)英語 (60分 100点)

(3)面接

※本学卒業生は筆記試験免除

※辞典等の持込不可

※これまでにこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

【B方式】英語能力で選考

※オール・イングリッシュコース希望者はB方式で受験(出願資格「外国人留学生」に記載されている英語能力に該当する者を対象とする)

(1)書類審査

(2)英語によるエッセイ (60分 100点)

(3)面接

※辞典等の持込不可

※これまでにこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

※B方式で受験せずに入学後オール・イングリッシュコース履修を希望することは不可

●医療薬学専攻(博士)

(1)書類審査

(2)薬学専門科目の記述試験 (90分 100点)

「医療薬学」、「臨床薬学」、「生命薬学」、「創製薬学」の各分野から合計10問程度の出題に対し、入学志望分野を含み

3問を選択解答

(3)語学科目(英語) 英和辞典持込可(電子辞書等は不可/辞書(冊子体のみ可) (30分 100点)

(4)小論文 医療薬学分野の課題について(500~600字程度) (30分 100点)

(5)面接 これまでにこなった研究の概要、今後志望する研究計画に関する口述試問(10~20分程度)

時間	10:30~12:00	12:30~13:00	昼休み	14:00~14:30	15:00~
科目	専門科目の記述試験	語学科目(英語)		小論文	面接

※10:20までに指定された選考会場に入室してください。

※本学卒業生の場合は、研究科長の判断で一部科目の免除を認める場合がある。

## ■留学生国内入試

### (1) 出願書類(全研究科共通)

	出願書類	備考
1	志願票	①写真(出願3ヶ月以内に撮影したもので縦4cm×横3cm、正面上半身、脱帽、背景なし) ②受験票の記載欄に、「住所」「氏名」および「志望学科」を必ず記入 ③入学検定料の払い込みを済ませた受付局日付印のある「郵便振替払込受付証明書」を志願票裏面の所定欄に貼付
2	健康診断書	本学所定用紙に記入して提出(医療機関で受診)※学生の場合、学校発行の診断書でも可
3	卒業(見込)証明書および成績証明書	出身大学が作成した卒業(見込)証明書および成績証明書の原本を提出
4-1	日本留学試験「日本語(220点以上)」の成績通知書	「日本留学試験」或は「日本語能力試験」証明書を提出
4-2	日本語能力試験N2(旧2級)以上の認定証	①証明書は原本を提出(試験終了後返却する) ②日本留学試験については、本学入学試験当該年度より過去2年までの成績が有効
4-3	日本語学習歴証明書および出席率証明書	① 13-1、13-2 ない場合は、日本語教育機関などの成績証明書および出席率証明書を提出
4-4	英語能力に関する証明書	④出願条件を満たすことを証明する英語能力に関する証明書(TOEIC、TOEFL、IELTS)などを提出 ※詳細については、入試・広報センターまでお問い合わせください。
5	推薦書	本学所定用紙に推薦者が自筆で記入し、署名および押印をした書類を提出 ※厳封すること
6	志望理由書	本学所定の用紙を使用して記入すること ※ワードで作成した文書を貼付してもよい
7	語学関連の各種検定試験等の合格証書やスコアの写し	※国際アドミニストレーション専攻・グローバルコミュニケーション専攻のみ 語学関連の各種検定試験の合格証書やスコアを証明する書類などがある場合には写しを提出
8	プレゼンテーション資料	●ビジネスデザイン研究科のみ提出 ※パワーポイント等プレゼンテーション用ソフトを使用する場合には、プレゼンテーションに使用するデータ(画像)をプリントした資料を提出(2部)
9	パソコン使用に関するアンケート	●ビジネスデザイン研究科のみ提出 プレゼンテーションにおいて、パソコンを使用する場合に提出
10	住民票	市町村区役所で発行される原本を提出 ※在留資格、在留期間等が記載されていること
11	外国人調査書	本学所定用紙に本人が記入(所在地住所を具体的に記入、署名欄に押印あり)
12	身元保証および経費支弁誓約書 ※同一人物でなくても良い	① 本学所定用紙に記入 ② 身元保証人・経費支弁者が別の場合、自筆で別々記入し、署名および押印 ③ 身元保証人とは留学期間中の留学生に関するすべての事項(緊急連絡先などを含む)について、個人的に保証することが出来る方 ④ 経費支弁の「引受経緯」、「支弁方法」などについて具体的に明記し、日本語・英語以外の言語による記入は、 <u>日本語の訳文を添付</u> ⑤「生活費」は「7.外国人留学生授業料減免申請書」の「1ヶ月の仕送り額」とそろえて記入 ⑥団体および企業等の機関保証は認めません
13	出願者本人の預金通帳の写し	経費支弁者からの送金履歴が記帳されている預金通帳のすべてのページの写しを提出 提出できない場合は経費支弁者の以下の書類を提出してください。 ①金融機関が発行する預金残高証明書を提出 ② <b>経費支弁者が中華人民共和国在住者の場合には、「存款証明書(定期6ヶ月以上)」</b> を提出
14	パスポートの写し	写真、入国履歴等が記載された全ページのコピーを提出
15	外国人留学生授業料減免申請書	所定用紙に本人が記入した書類(署名欄に押印する) ① 授業料減免制度(授業料30%減免)の適用を申請する場合は提出 ②「受験番号」「学籍番号」は、記入不要 ③ アルバイトの有無は、日本国内でアルバイトをしている場合のみ記入 ④ 授業料減免を希望する理由」を明確にして3行以上記入
16	卒業(修士)論文	卒業(修士)論文および付随する資料(コピー可) なお、卒業(修士)論文を提出できないものについては、その理由を記載した理由書(書式自由)および卒業(修士)論文に相当する業績(コピー可)を提出

### 注意事項

1	状況に応じて上記出願書類以外の書類の提出を求める場合があります
2	外国の各種証明書は、日本語および英語によるものとします。 <b>日本語、英語以外の言語による証明書には、日本語の訳文を添付してください</b>
3	出願書類は、受験生が自筆の日本語で記入してください(身元保証書および経費支弁誓約書は除く)
4	提出書類等に虚偽の記載、または虚偽の申告等の事実があった場合には、入学許可を取り消す場合があります
5	提出書類のうち、卒業証書等の再発行が不可能な資料等原本については、合否判定後に返却します

授業料減免に伴う必要書類として、上記書類にあわせて入学手続時に以下の書類を追加提出してください。

\* (合格後入学手続書類と同時に提出可)

	書 類 名	備 考
1	出願者と身元保証人・経費支弁者との関係を証明する書類	①戸籍謄本(抄本)を提出 ②中華人民共和国出身の出願者は、官公庁で発行される親族公証書を提出
2	戸口簿の写し ※中華人民共和国の出願者	①「現住所」「身元保証人・経費支弁者本人」「出願者本人」が記載されているページの写しを提出 ②最新の状況に更新して提出
3	経費支弁者の預金残高証明書	①金融機関が発行する預金残高証明書を提出 ②経費支弁者が中華人民共和国在住者の場合には、「存款証明書(定期6ヶ月以上)」を提出※出願時に提出している場合には不要
4	預金残高の資金形成を証明する資料	「経費支弁者の預金残高証明書」に記載された金額の資金形成過程が証明できる資料(預金通帳など)のすべてのページを写して提出
5	経費支弁者の在職証明書	勤務している機関が発行した証明書を提出 ※「在職期間」「勤務先の正式名称」「勤務先住所」「勤務先電話番号」が記載された証明書
6	経費支弁者の収入証明書	経費支弁者の過去3年以上の年収が記載された証明書を提出

## (2) 選考方法

人文科学研究科 (国際文化専攻・女性学専攻・グローバルコミュニケーション専攻・比較文化専攻)

### 【A方式】日本語能力で選考

- (1) 書類審査
- (2) 日本語＋小論文 (60分 各100点)
- (3) 面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

### 【B方式】英語能力で選考

※グローバルコミュニケーション専攻「TESOL 研究分野」を専攻する場合は限定

- (1) 書類審査
- (2) 英語によるエッセイ (60分 100点)
- (3) 面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

### 【C方式】日本語と第三言語で選考

※グローバルコミュニケーション専攻「翻訳分野・通訳分野」限定

- (1) 書類審査
- (2) 日本語＋小論文 (60分 各100点)
- (3) 「英語」「中国語」「韓国語」から専攻を希望する分野に関する言語を1つ選択 (60分 100点)
- (4) 面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

## ●起業マネジメント専攻(修士課程・博士後期課程)

### 【A方式】日本語能力で選考

- (1) 書類審査
- (2) 日本語＋小論文 (60分 各100点)
- (3) 面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

## ●福祉社会専攻

### 【A方式】日本語能力で選考

- (1) 書類審査
- (2) 日本語＋小論文 (60分 各100点)
- (3) 面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

### ●ビジネスデザイン専攻

#### 【A方式】日本語能力で選考

- (1)書類審査
- (2)日本語+小論文 (60分 各100点)
- (3)面接

※辞典等の持込不可

※ビジネスデザイン専攻面接する際、パソコンでのプレゼンテーションが可能です。パソコンを使用する場合には、パソコン使用に関するアンケートを必ず提出し、選考日当日にパソコンを持参してください。

※研究計画に関するプレゼン及び口述試問

### ●国際アドミニストレーション専攻

#### 【A方式】日本語能力で選考

- (1)書類審査
- (2)日本語+小論文 (60分 100点)
- (3)面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

#### 【B方式】英語能力で選考

※オール・イングリッシュコース希望者はB方式で受験

- (1)書類審査
- (2)英語によるエッセイ (60分 100点)
- (3)面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

※B方式で受験せずに入学後オール・イングリッシュコース履修を希望することは不可

## ■ 社会人入試

### (1) 出願書類(全研究科共通)

	出願書類	備 考
1	志願票	①写真(出願3ヶ月以内に撮影したもので縦4cm×横3cm、正面上半身、脱帽、背景なし) ②受験票の記載欄に、「住所」「氏名」および「志望学科」を必ず記入 ③入学検定料の払い込みを済ませた受付局日付印のある「郵便振替払込受付証明書」を志願票裏面の所定欄に貼付
2	健康診断書	本学所定用紙に記入して提出(医療機関で受診) ※社会人の場合、職場発行の診断書でも可
3	卒業・成績証明書証明書	出身大学が作成した証明書を提出
4	推薦書	本学所定用紙に推薦者が自筆で記入し、署名および押印をした書類を提出 ※厳封すること なお、社会人で提出できないものについては、その理由を記載した理由書を提出
5	志望理由書	本学所定の用紙を使用して記入すること ※ワードで作成した文書を貼付してもよい
6	事前課題(様式自由)	志望専攻の領域に関して、最近の関心事を大学在学時並びに社会人の経験をふまえてまとめたものを提出
7	在職証明書	現職を有する場合に提出
8	語学関連の各種検定試験等の合格証書やスコアの写し	●国際アドミニストレーション専攻・グローバルコミュニケーション専攻のみ 語学関連の各種検定試験の合格証書やスコアを証明する書類などがある場合には写しを提出
9	プレゼンテーション資料	●ビジネスデザイン研究科のみ提出 ※パワーポイント等プレゼンテーション用ソフトを使用する場合には、プレゼンテーションに使用するデータ(画像)をプリントした資料を提出(2部)
10	パソコン使用に関するアンケート	●ビジネスデザイン研究科のみ提出 プレゼンテーションにおいて、パソコンを使用する場合に提出
11	卒業(修士)論文	卒業(修士)論文および付随する資料(コピー可) なお、卒業(修士)論文を提出できないものについては、その理由を記載した理由書(書式自由)および卒業(修士)論文に相当する業績(コピー可)を提出

	注意事項
1	状況に応じて上記出願書類以外の書類の提出を求める場合があります
2	証明書の姓が現在と異なる場合は、戸籍抄本等を提出してください
3	出願書類は、受験生が自筆の日本語で記入してください(身元保証書および経費支弁誓約書は除く)
4	提出書類等に虚偽の記載、または虚偽の申告等の事実があった場合には、入学許可を取り消す場合があります
5	提出書類のうち、卒業証書等の再発行が不可能な資料等原本については、可否判定後に返却します

### (2) 選考方法

#### ●人文科学研究科(国際文化専攻・女性学専攻・比較文化専攻)

##### (1) 書類審査

##### (2) 面接

※1年修了コース設置(修士課程)

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

#### ●グローバルコミュニケーション専攻の選考方法(日英・日中・日韓・翻訳・通訳研究分野を選択する場合)

英語・中国語・韓国語能力について中級以上を有すると判断される者

##### (1) 書類審査

##### (2) 面接

※1年修了コース設置

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

●グローバルコミュニケーション専攻(TESOL 研究分野を選択する場合)

【欧米地区】英語:ネイティブ以外の場合は、TOEIC Listening & Reading730 以上、TOEFL iBT80/PBT550 以上、IELTS(Academic)6.5 以上などの英語能力が証明できる者

【それ以外の地区(アジア地区など)】英語:TOEIC Listening & Reading 600 以上、TOEFL iBT61/PBT500 以上、IELTS (Academic)5.5 以上、あるいは他の試験でこれらと同等のスコア

- (1)書類審査
- (2)面接

※1年修了コース設置(修士課程)

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

●福祉社会専攻 ●起業マネジメント専攻(修士課程・博士後期課程) ●ビジネスデザイン専攻

- (1)書類審査
- (2)面接

※1年修了コース設置(修士課程)

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

※ビジネスデザイン専攻面接する際、パソコンでのプレゼンテーションが可能です。パソコンを使用する場合には、パソコン使用に関するアンケートを必ず提出し、選考日当日にパソコンを持参してください。

●国際アドミニストレーション専攻

【A方式】日本語能力で選考

- (1)書類審査
- (2)面接

※1年修了コース設置

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

【B方式】英語能力で選考

※オール・イングリッシュコース希望者はB方式で受験(出願資格「外国人留学生」に記載されている英語能力に該当する者を対象とする)

- (1)書類審査
- (2)面接

※1年修了コース設置

※これまでにおこなった研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問。

●医療薬学専攻(博士)

- (1)書類審査

(2)薬学専門科目の記述試験 (90分 100点)

「医療薬学」、「臨床薬学」、「生命薬学」、「創製薬学」の各分野から合計10問程度の出題に対し、入学志望分野を含み3問を選択解答

(3)語学科目(英語) 英和辞典持込可(電子辞書等は不可/辞書(冊子体のみ可) (30分 100点)

(4)小論文 医療薬学分野の課題について(500~600字程度) (30分 100点)

(5)面接 これまでにおこなった研究の概要、今後志望する研究計画に関する口述試問(10~20分程度)

時間	10:30~12:00	12:30~13:00	昼休み	14:00~14:30	15:00~
科目	専門科目の記述試験	語学科目(英語)		小論文	面接

※10:20 までに指定された選考会場に入室してください。

※本学卒業生の場合は、研究科長の判断で一部科目の免除を認める場合がある。



## 9. 合否発送

試験の結果は、受験者本人宛に郵送で通知します。

※合否通知発送日に書留・速達にて投函します。書類は翌日以降の到着となります。

※合否についての電話等による問い合わせには、一切応じません。

## 10. 入学手続

### (1) 学費等納付金

入学手続締切日までに、一括して指定の銀行口座に払い込んでください。

### (2) 入学手続書類

	書 類 名	備 考
1	学生個人別カード	写真 1 枚(縦 4cm×横 3cm)を貼付してください。
2	誓約書(学生個人別カード裏面)	
3	学生証(身分証明書)発行原簿	写真 1 枚(縦 4cm×横 3cm)を貼付してください。
4	健康管理カード	
5	入学者整理カード	
6	入学許可書送付用返信封筒	住所、氏名および受験番号を記入してください。
7	父母後援会登録書	必ず保護者が自筆で記入および押印をしてください。

注 1) 「学費等納付金」の納付および「入学手続書類」の提出を入学手続締切日までに完了してください。なお、入学手続締切日までに手続きが完了しない場合には、入学を許可しません。

注 2) 外国人留学生は、上記手続書類のほかに、**別途誓約書を提出**してください

※外国人留学生のみ(本学在籍の外国人留学生を除く)、授業料減免に伴う必要資料として入学手続時に追加提出してください。

	書 類 名	備 考
1	出願者と身元保証人・経費支弁者との関係を証明する書類	① 戸籍謄本(抄本)を提出 ② 中華人民共和国出身の出願者は、官公庁で発行される親族公証書を提出
2	戸口簿の写し ※中華人民共和国の出願者	①「現住所」「身元保証人・経費支弁者本人」「出願者本人」が記載されているページのコピーを提出 ② 最新の状況に更新して提出
3	経費支弁者の預金残高証明書	① 金融機関が発行する預金残高証明書を提出 ② 経費支弁者が中華人民共和国在住者の場合には、「存款証明書(定期 6 ヶ月以上)」を提出 ※出願時に提出している場合には不要
4	預金残高の資金形成を証明する資料	「経費支弁者の預金残高証明書」に記載された金額の資金形成過程が証明できる資料(預金通帳など)のすべてのページをコピーして提出
5	経費支弁者の在職証明書	勤務している機関が発行した証明書を提出 ※「在職期間」「勤務先の正式名称」「勤務先住所」「勤務先電話番号」が記載された証明書
6	経費支弁者の収入証明書	経費支弁者の過去 3 年以上の年収が記載された証明書を提出

※本学在籍の外国人留学生は、入国時に提出した以下の書類に変更がある場合には、入学手続時に改めて以下の書類を提出してください。

	書 類 名	備 考
1	出願者と身元保証人・経費支弁者との関係を証明する書類	① 戸籍謄本(抄本)を提出 ② 中華人民共和国出身の出願者は、官公庁で発行される親族公証書を提出
2	戸口簿の写し ※中華人民共和国の出願者	①「現住所」「身元保証人・経費支弁者本人」「出願者本人」が記載されているページのコピーを提出 ② 最新の状況に更新して提出
3	経費支弁者の在職証明書	勤務している機関が発行した証明書を提出 ※「在職期間」「勤務先の正式名称」「勤務先住所」「勤務先電話番号」が記載された証明書

注 1) 「学費等納付金」の納付および「入学手続書類」の提出を入学手続締切日までに完了してください。なお、入学手続締切日までに手続きが完了しない場合には、入学を許可しません。

## 11. 入学辞退

入学手続をおこなった後に入学を辞退する場合には、2018 年 3 月 22 日(木)午後 4 時までに、**入試・広報センター宛に必ず電話(Tel.0475-55-8855)で申し出てください**。本学所定の「入学辞退届」を送付します。入学辞退届が届いたら、所定欄に記入、押印のうえ「入学辞退届」「入学許可書」を同封し、書留で返送してください。なお、3 月 31 日(土)までに書類が本学に到着した場合は、4 月 13 日(金)に入学金(入学申込金)を除く、学費および諸会費(委託徴収)を返還します。

## 12. 学費等納付金一覧

### 【一般入試・社会人選抜】

人文科学研究科・福祉総合学研究科・国際プロミネーション研究科

(修士課程・博士後期課程共通)

(日本円)

内 訳	区 分	初年度			2 年次以降(年額)
		入学手続時	10 月(秋学期)	合計(年額)	
学 費	入学金(入学申込金)	300,000	—	300,000	—
	授業料	275,000	275,000	550,000	同額を納入(2 期分納)
	施設設備費	100,000	—	100,000	100,000 円を納入(2 期分納)
	小計	675,000	275,000	950,000	—
(委託徴収) 諸会費	父母後援会費	10,000	—	10,000	入学手続時のみ(相互扶助組織として機能)
	共済費	9,000	—	9,000	同額を納入
	同窓会入会金*	10,000	—	10,000	修士 2 年次 40,000 博士 3 年次 40,000
	学会費	3,000	—	3,000	同額を納入
	小計	32,000	—	32,000	—
納 付 額		707,000	275,000	982,000	修士 2 年次 702,000 博士 2 年次 662,000 博士 3 年次 702,000

※入学申込金は、入学金に充当します。

※本学卒業者と社会人選抜者は、父母後援会費を免除します。

※本学卒業者は、入学金を免除します。

※修士課程 1 年修了コースの授業料は 800,000 円です。

\* 本学学部からの進学者は除く。

経営情報学研究科・ビジネスデザイン研究科

(修士課程・博士後期課程共通)

(日本円)

内 訳	区 分	初年度			2 年次以降(年額)
		入学手続時	10 月(秋学期)	合計(年額)	
学 費	入学金(入学申込金)	300,000	—	300,000	—
	授業料	275,000	275,000	550,000	同額を納入(2 期分納)
	施設設備費	150,000	—	150,000	150,000 円を納入(2 期分納)
	小計	725,000	275,000	1,000,000	—
(委託徴収) 諸会費	父母後援会費	10,000	—	10,000	入学手続時のみ(相互扶助組織として機能)
	共済費	9,000	—	9,000	同額を納入
	同窓会入会金*	10,000	—	10,000	修士 2 年次 40,000 博士 3 年次 40,000
	学会費	3,000	—	3,000	同額を納入
	小計	32,000	—	32,000	—
納 付 額		757,000	275,000	1,032,000	修士 2 年次 752,000 博士 2 年次 712,000 博士 3 年次 752,000

※入学申込金は、入学金に充当します。

※本学卒業者と社会人選抜者は、父母後援会費を免除します。

※本学卒業者は、入学金を免除します。

※修士課程 1 年修了コースの授業料は 800,000 円です。

※起業マネジメント専攻修士課程の「中小企業診断士登録養成課程」の実習費については、別途徴収することがあります。

\* 本学学部からの進学者は除く。

(日本円)

内 訳		初年度			2年次以降(年額)
		入学手続時	10月(秋学期)	合計(年額)	
学 費	入学金(入学申込金)	300,000	—	300,000	—
	授業料	375,000	375,000	750,000	同額を納入(2期分納)
	施設設備費	150,000	—	150,000	毎年150,000円を納入(2期分納)
	小計	825,000	375,000	1,200,000	—
(委託徴収) 諸会費	父母後援会費	10,000	—	10,000	入学手続時のみ(相互扶助組織として機能)
	共済費	9,000	—	9,000	同額を納入
	同窓会入会金*	10,000	—	10,000	博士4年次 40,000
	学会費	3,000	—	3,000	同額を納入
	小計	32,000	—	32,000	—
納付額		857,000	375,000	1,232,000	博士2、3年次 912,000 博士4年次 952,000

※入学申込金は、入学金に充当します。

※本学卒業者は、入学金を免除します。

※本学卒業者と社会人選抜者は、父母後援会費を免除します。

\*本学学部からの進学者は除く。

## 【外国人留学生】

人文科学研究科・福祉総合学研究科・国際アドミニストレーション研究科

(修士課程・博士後期課程共通)

(日本円)

内 訳	区 分	初年度			2 年次以降(年額)
		入学手続時	10 月(秋学期)	合計(年額)	
学 費	入学金(入学申込金)	300,000	—	300,000	—
	授業料	192,500	192,500	385,000	同額を納入(2 期分納)
	施設設備費	100,000	—	100,000	毎年 100,000 円を納入(2 期分納)
	小計	592,500	192,500	785,000	—
(委託徴収) 諸会費	父母後援会費	—	—	—	外国人留学生は父母後援会費を免除
	共済費	9,000	—	9,000	同額を納入
	同窓会入会金*	10,000	—	10,000	修士 2 年次 40,000 博士 3 年次 40,000
	学会費	3,000	—	3,000	同額を納入
	小計	22,000	—	22,000	—
納 付 額		614,500	192,500	807,000	修士 2 年次 537,000 博士 2 年次 497,000 博士 3 年次 537,000

※本学大学院に入学した外国人留学生で、他機関からの奨学金・授業料減免制度の適用を受けていない外国人留学生は、出願時に外国人留学生授業料減免制度申請書を提出することで、「城西国際大学外国人留学生授業料減免制度」(授業料 30%減免)の適用を受けることができます。上記の金額は、本学の「城西国際大学外国人留学生授業料減免制度」(授業料 30%減免)の適用金額になります。

※入学申込金は、入学金に充当します。

※本学卒業者は、入学金を免除します。

※修士課程 1 年修了コースの授業料は 800,000 円です。

\*本学学部からの進学者は除く。

経営情報学研究科・ビジネスデザイン研究科

(修士課程・博士後期課程共通)

(日本円)

内 訳	区 分	初年度			2 年次以降(年額)
		入学手続時	10 月(秋学期)	合計(年額)	
学 費	入学金(入学申込金)	300,000	—	300,000	—
	授業料	192,500	192,500	385,000	同額を納入(2 期分納)
	施設設備費	150,000	—	150,000	毎年 150,000 円を納入(2 期分納)
	小計	642,500	192,500	835,000	—
(委託徴収) 諸会費	父母後援会費	—	—	—	外国人留学生は父母後援会費を免除
	共済費	9,000	—	9,000	同額を納入
	同窓会入会金*	10,000	—	10,000	修士 2 年次 40,000 博士 3 年次 40,000
	学会費	3,000	—	3,000	同額を納入
	小計	22,000	—	22,000	—
納 付 額		664,500	192,500	857,000	修士 2 年次 587,000 博士 2 年次 547,000 博士 3 年次 587,000

※本学大学院に入学した外国人留学生で、他機関からの奨学金・授業料減免制度の適用を受けていない外国人留学生は、出願時に外国人留学生授業料減免制度申請書を提出することで、「城西国際大学外国人留学生授業料減免制度」(授業料 30%減免)の適用を受けることができます。上記の金額は、本学の「城西国際大学外国人留学生授業料減免制度」(授業料 30%減免)の適用金額になります。

※入学申込金は、入学金に充当します。

※本学卒業者は、入学金を免除します。

※修士課程 1 年修了コースの授業料は 800,000 円です。

\*本学学部からの進学者は除く。

## 大学院生への奨学生制度

城西国際大学では、下記の奨学生制度を設けており、大学院で学ぶ皆さんをサポートしています。

※各種奨学制度は変更になる場合があります。詳細は、入試・広報センターまでお問い合わせください。

●女性リーダー育成奨励制度

●ティーチング・アプレントイスシップ制度

●ティーチング・アシスタント制度

●ワークスタディ・プログラム

●外国人留学生授業料減免制度

●外国人留学生宿舎貸与奨学制度

(海外募集による入学者のみ申請可。東京紀尾井町キャンパス通学者の宿舎貸与の適用は無し)





城西国際大学 入試・広報センター

住所:千葉県東金市求名(ぐみょう)1番地

TEL: 0475-55-8855 (直通)

FAX: 0475-53-2194

E-mail : [admis@jiu.ac.jp](mailto:admis@jiu.ac.jp)